ドキュメンタリー映画

『阪神大震災 再生の日々を生きる』

DVD化と新作ドキュメント製作プロジェクト

募金のお願い

プロジェクトの趣旨

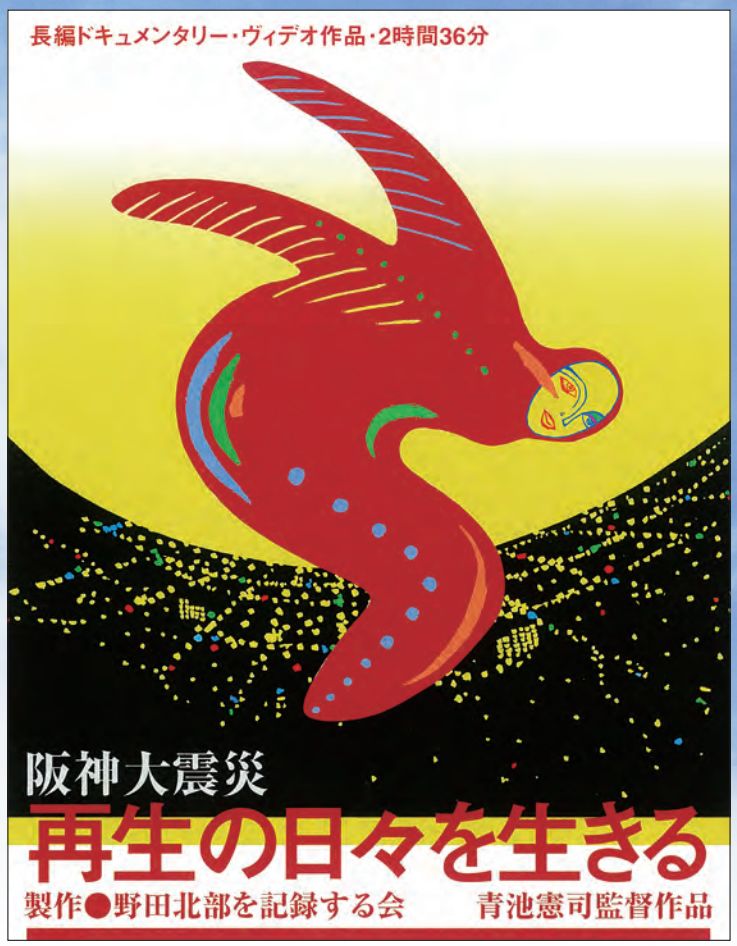
2020年は、阪神・淡路大震災から25年になります。これは、被災地のみなさんはいうまでもありませんが、震災直後からドキュメンタリー映画の製作で復興に関わってきた「野田北部を記録する会」にとっても、大きな節目です。

野田北部を記録する会は、1995年1月下旬に神戸市長田区野田北部・鷹取地区へ入り、被災住民の復興の日々を撮りはじめました。それから99年4月まで、この地域にキャメラを据えて、4年3か月におよぶコミュニティ再生のプロセスを、現地に流れる時間によりそいながら撮影・製作・上映しました。製作本数は27作品になります。

野田北部を記録する会では、それらの作品を、撮影当時のアナログ素材からディジタル映像に変換し、「阪神・淡路大震災におけるコミュニティ復興活動の記録」として、次代に伝えていきたいと考えています。

現在、『阪神大震災 再生の日々を生きる』(2000年／156分)のDVD化と、新作『大震災から25年／野田北部・人とまちのいま』(30分予定)の製作を計画していますが、最大の課題は、製作資金の捻出です。

プロジェクトの内容を記して、みなさまのご支援ご協力を仰ぎたいと思います。



製作費：2,000,000円

① データ変換費	200,000円
② DVDディスク制作費	600,000円
③ 新作製作費(撮影・編集・仕上げ)	1,000,000円
④ パンフレット制作費	200,000円

作業項目

❶ 現在のアナログ素材からディジタル素材へのデータ変換作業
❷ 新データによるDVDディスクの制作
❸ 新作ドキュメント『大震災から25年／野田北部・人とまちのいま』(30分予定)の撮影～仕上げ
❹『阪神大震災 再生の日々を生きる』と、新作『大震災から25年／野田北部・人とまちのいま』をセットにして、2枚組DVDを制作
❺ パンフレット『製作日誌1995～2010』(監督の撮影日録・エッセイと年表・資料で読む野田北部・鷹取)を制作

製作費の募金と返礼　※お届け予定／2020年1月頃

1　10,000円の方

DVD『阪神大震災 再生の日々を生きる』
（2000年作品／156分）

＋

パンフレット『製作日誌1995~2010』
※募金者のお名前を記載
（監督の撮影日録・エッセイと年表資料で読む野田北部・鷹取）

2　20,000円の方

DVD『阪神大震災 再生の日々を生きる』（2000年作品／156分）

＋

新作DVD『大震災から25年／野田北部・人とまちのいま』
（2020年作品／30分予定）

＋

パンフレット『製作日誌1995~2010』　※募金者のお名前を記載
（監督の撮影日録・エッセイと年表資料で読む野田北部・鷹取）

募金の方法

目標額／2,000,000円

◎恐れ入りますが振込手数料はご負担ください。
◎「寄付」あるいは「購入代金」として領収書を発行します。

【ゆうちょ銀行からの払込方法】

「払込取扱票」（青枠）でお願いします。

口座記号番号：00200-3-106674
加　入　者　名：野田北部を記録する会

通信欄に「募金1」あるいは「募金2」とご記入ください。
よろしければ、メールアドレスをご記入ください。

【他銀行からの払込方法】

銀行名：ゆうちょ銀行
店名（店番）：〇二九（ゼロニキュウ）店
預　金　種　目：当座
当座口座番号：0106674

プロジェクトの呼びかけ

製作の趣旨に、ご理解とご賛同をいただき、みなさま（個人、団体）の募金で、このプロジェクトを実現したいと思います。よろしくお願い申しあげます。

呼びかけ人代表　浅山三郎（元・野田北部まちづくり協議会会長）

呼びかけ人
（五十音順）

河合節二（野田北部まちづくり協議会会長）
神田　裕（神父／たかとり救援基地代表）
小林郁雄（阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 上級研究員）
佐藤　滋（早稲田大学研究院名誉教授）
陳　亮全（元・台湾国家災害防救科技センター センター長）
林　博司（野田北ふるさとネット代表）
本間英一（かどのわき町内会会長）
真野洋介（東京工業大学環境・社会理工学院 准教授）
室崎益輝（神戸大学名誉教授）
森崎輝行（建築家）

映画『阪神大震災 再生の日々を生きる』の概要

神戸市長田区野田北部・鷹取という一地域にキャメラを据えて、震災直後から1999年4月まで、4年3か月におよぶ、住民と専門家・行政の協働による、コミュニティ再生のプロセスを、「野田北部まちづくり協議会」の活動を中心に構成した長編ドキュメンタリー映画。
〈記憶のための連作『野田北部・鷹取の人びと』全14部／14時間38分〉の集成篇。
台湾国際ドキュメンタリー映画祭正式招待作品（2000年）

※野田北部を記録する会公式サイトに、VHS作品の紹介がありますが、現在は販売していません。

神戸市長田区野田北部・鷹取地区とは

阪神・淡路大震災激甚被災地の一つ。住宅・商店・作業所などが混在した“下町”。この地区には震災前から、「野田北部まちづくり協議会」があって、住民が自主的に自分たちの地域をみつめ、住環境の改善に取り組んでいた。震災直後、まちづくり協議会は復興対策本部を立ち上げ、被災者の生活再建と、住民主体のまちづくりを進めた。時間がかかり、試行錯誤もありながら、地域のなかでじっくりと議論を重ね、専門家やボランティアと協働し、行政とも根気よく話しあうことで、新たなコミュニティがつくられた。

募金の主体：野田北部を記録する会（代表：青池憲司）　連絡先・問い合わせ先【E-Mail】aobeka2@kfy.biglobe.ne.jp
【公式サイト】http://nodahokubu.web.fc2.com/index.html　【Facebook】https://www.facebook.com/aoikegumi/